

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,685	3,750	64	(注1)
施設整備費補助金	2,586	1,628	△ 958	(注2)
船舶建造費補助金				
補助金等収入	1,434	1,755	321	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	30	30	—	
自己収入	2,563	2,536	△ 26	
授業料、入学料及び検定料収入	2,400	2,362	△ 36	(注4)
附属病院収入				
財産処分収入		20	20	(注5)
雑収入	163	152	△ 10	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	230	461	231	(注7)
引当金取崩				
長期借入金収入				
貸付回収金				
目的積立金取崩				
計	10,528	10,161	△ 366	
支出				
業務費	6,248	6,314	66	(注8)
教育研究経費	6,248	6,314	66	
診療経費				
施設整備費	2,616	1,658	△ 958	(注9)
船舶建造費				
補助金等	1,434	1,716	282	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	230	440	210	(注11)
貸付金				
長期借入金償還金				
国立大学財務・経営センター施設費納付金		9	9	(注12)
計	10,528	10,139	△ 389	
収入－支出	—	22	22	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠及び「授業料等免除実施分」の特別運営費交付金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が64百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、環境放射能研究所や講義棟改修の事業が翌年度に繰越となったこと等により、予算額に比して決算額が958百万円少額となっております。なお、決算額に前年度以前からの繰越額1,480百万円を含んでおります。
- (注3) 補助金等収入については、獲得に努めたため、予算額に比して決算額が321百万円多額となっております。なお、決算額に前年度以前からの繰越額1,062百万円を含んでおります。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者数及び受験者数が見込みより少なかったことと、(注1)に示した特別運営費交付金による授業料等免除実施や平成26年度に実施する入学試験において被災者を対象とした検定料免除を行ったこと等により、予算額に比して決算額が36百万円少額となっております。
- (注5) 財産処分収入については、旧厚生施設（海の家）の土地売却により、予算額に比して決算額が20百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として科研費間接経費収入が見込みより少なかったこと等により、予算額に比して決算額が10百万円少額となっております。
- (注7) 予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究等や奨学寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が231百万円多額となっております。
- (注8) 業務費については、繰越となった運営費交付金事業や(注1)に示した特別運営費交付金による執行等により予算額に比して決算額が66百万円多額となっております。なお、決算額に前年度以前からの繰越額225百万円を含んでおります。
- (注9) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が958百万円少額となっております。なお、決算額に前年度以前からの繰越額1,480百万円を含んでおります。
- (注10) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が282百万円多額となっております。なお、決算額に前年度以前からの繰越額1,061百万円を含んでおります。
- (注11) (注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が210百万円多額となっております。なお、決算額に前年度以前からの繰越額81百万円を含んでおります。
- (注12) (注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が9百万円多額となっております。